

薬学科

[医薬薬剤学研究室]

門脇先生



腎臓病の予防・治療につながる 薬を見つけ、育てる研究

「日本の成人8人に1人が慢性腎臓病」といわれる現代。病気の原因は多種多様ですが、薬学的な視点から腎臓病に効果的な薬の活用方法を研究しています。具体的には、腎臓病の進行につながる活性酸素を除去できる抗酸化作用の高い薬剤の探索や、より効果が高まる薬の使用方法を検討しています。腎臓病の予防や治療、医療費抑制など、生命活動で重要な役割を担う腎臓を守るための道を追求しています。

住吉さん 薬学科6年生

鹿児島県/鹿児島純心女子高校出身

薬の未知の効果を見つけ 臨床現場でも役立てたい

臨床に近い実験ができるため、この研究を選びました。高尿酸血症治療薬の研究を進める中で、その副作用を軽減する目的で作られた新薬の存在を知り、自「この新薬を研究したい」と希望。もし新薬に抗酸化作用が見つかれば、患者さんにとって薬の選択肢が広がる可能性があります。将来、臨床でも生かせるような薬の未知なる力を探究してまいります。

